

令和5年度
第3回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「住まいや住環境について」

「バリアフリー・まちの景観について」

「世界文化遺産『国立西洋美術館』の周知啓発・活用について」

台東区 総務部 広報課

令和5年度 第3回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) 住まいや住環境について
- (2) バリアフリー・まちの景観について
- (3) 世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用について

調査概要

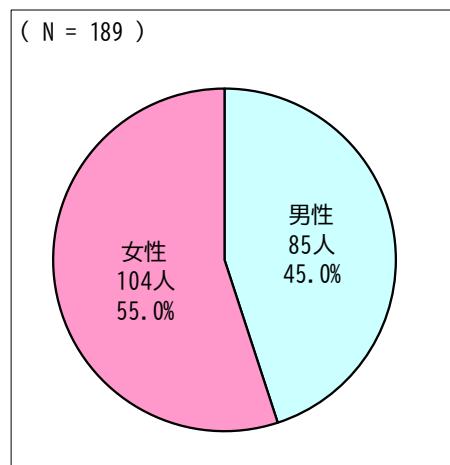
調査期間 令和5年9月26日（火）～10月9日（月）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター61名、Eメールサポーター139名）

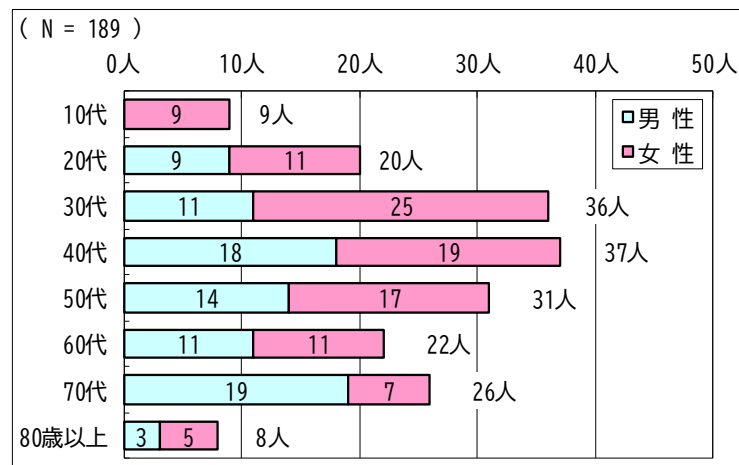
有効回収数 189名（郵便59名、Eメール130名） 有効回収率94.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	2人	5人	6人	15人	10人	2人
女 性	6人	1人	4人	10人	12人	7人
計	8人	6人	10人	25人	22人	9人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	10人	12人	7人	9人	7人	85人
女 性	8人	14人	14人	14人	14人	104人
計	18人	26人	21人	23人	21人	189人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	27人	77人	32人	18人	23人	12人	189人

目 次

I 調査結果の分析

「住まいや住環境について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「バリアフリー・まちの景観について」・・・・・・・・・・・・ 8

「世界文化遺産『国立西洋美術館』の周知啓発・活用について」・・ 14

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【住まいや住環境について】

今回の調査では、老朽化や空室化の進行が懸念されるマンションの管理不全の防止・改善の促進に「積極的に取り組むべきだと思う」「どちらかといえば積極的に取り組むべきだと思う」と回答された方が9割を超える結果となりました。

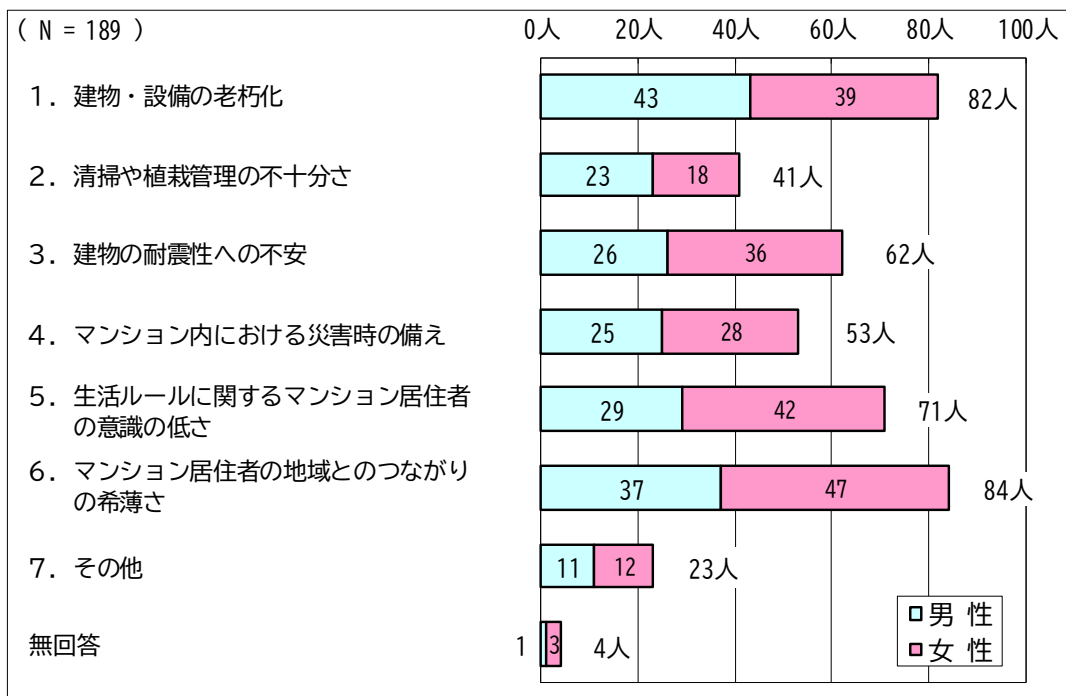
また、多くの方が、高経年住宅における建物・設備の修繕の促進をはじめ、高齢者の居住の安定に向けた相談体制の充実や空き家の利活用の促進などを重要と考えていることがわかりました。

さらに、住宅施策における今後の区での取り組みで重要だと思うものについては、「治安の向上」や「子育て世帯の居住環境の整備」、「防災性の向上」などのご意見が多いこともわかりました。

今回いただいたご意見を参考に、新たな「住宅マスタープラン」の検討を進めるとともに、多様なニーズに対応した良好な住環境の整備促進に取り組んでまいります。

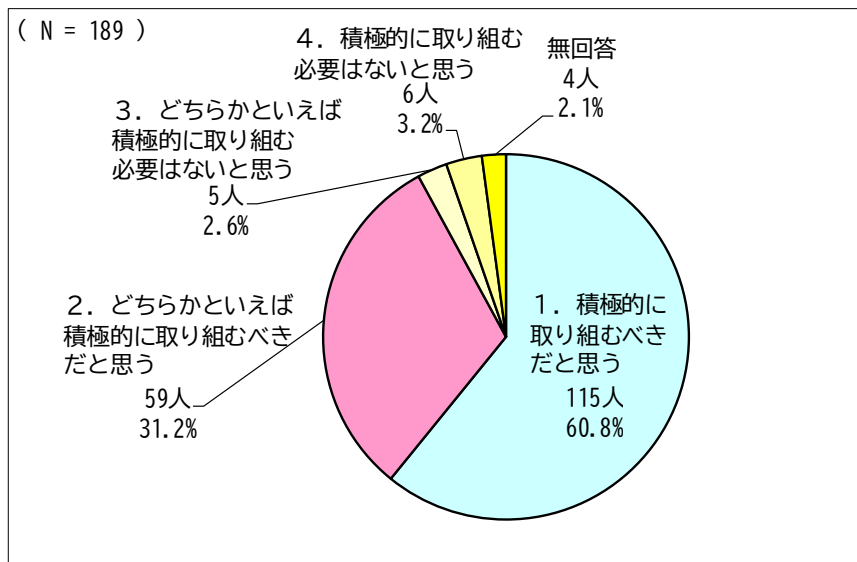
(都市づくり部 住宅課)

設問1：区内では、住宅の約8割をマンション等の共同住宅が占めています。
あなたのお住まい周辺のマンションについて、気になることは何ですか。
(複数回答可)



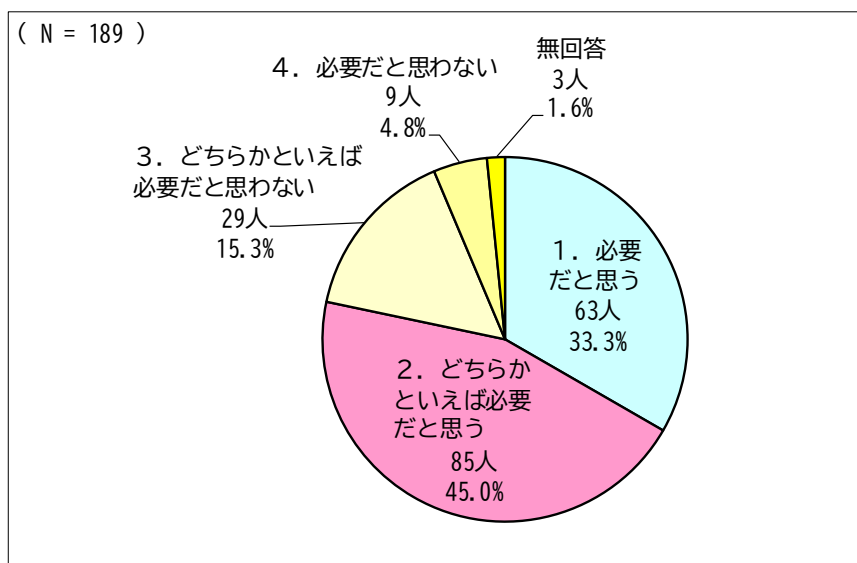
設問2：区内では、築50年を超えるマンションが年々増加しており、老朽化や空室化の進行が懸念されています。

マンションの管理不全の防止・改善の促進について、今後区は積極的に取り組むべきだと思いますか。

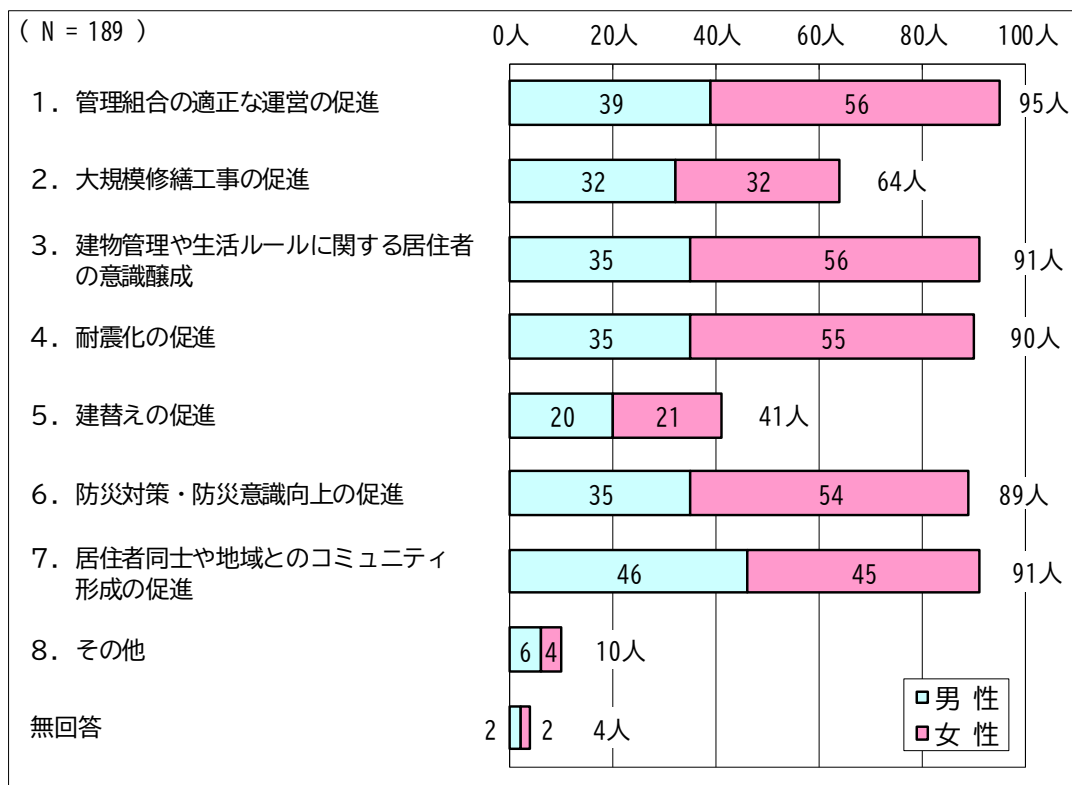


設問3：マンションは、戸建て住宅に比べ、近所付き合いの機会が限られている場合が少なくありません。

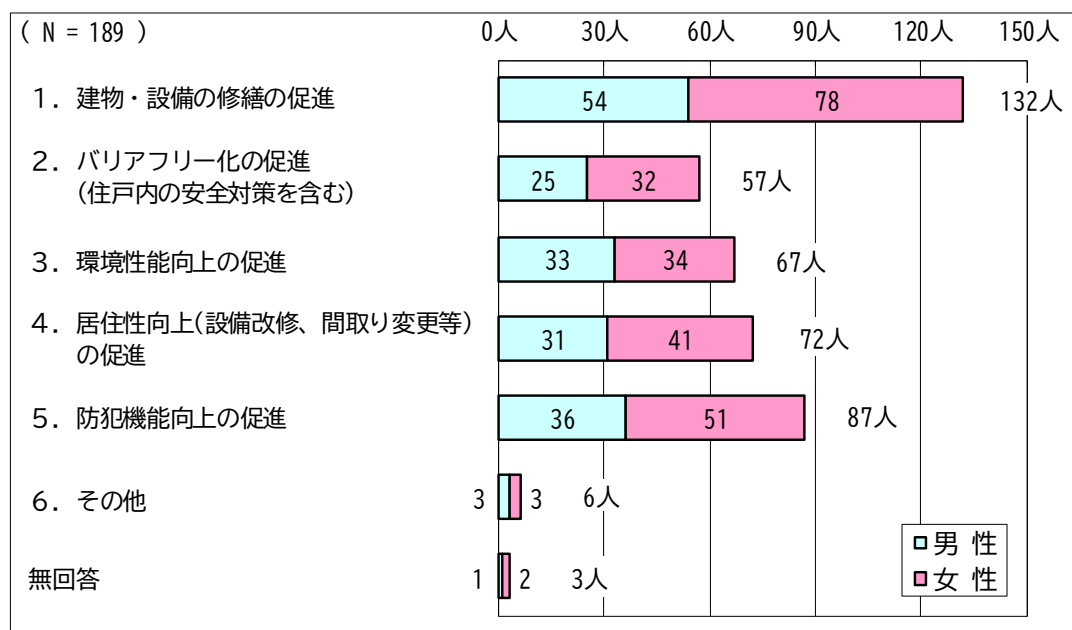
マンションにおける居住者同士の交流や、マンション居住者による地域活動への参加は必要だと思いますか。



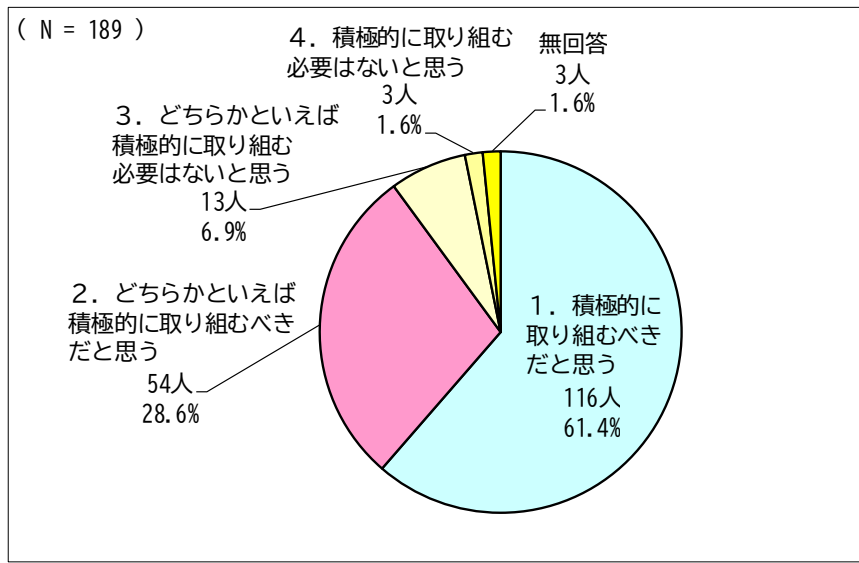
設問4：マンションに関する今後の区の見直しについて、重要だと思うものは何ですか。
 (複数回答可)



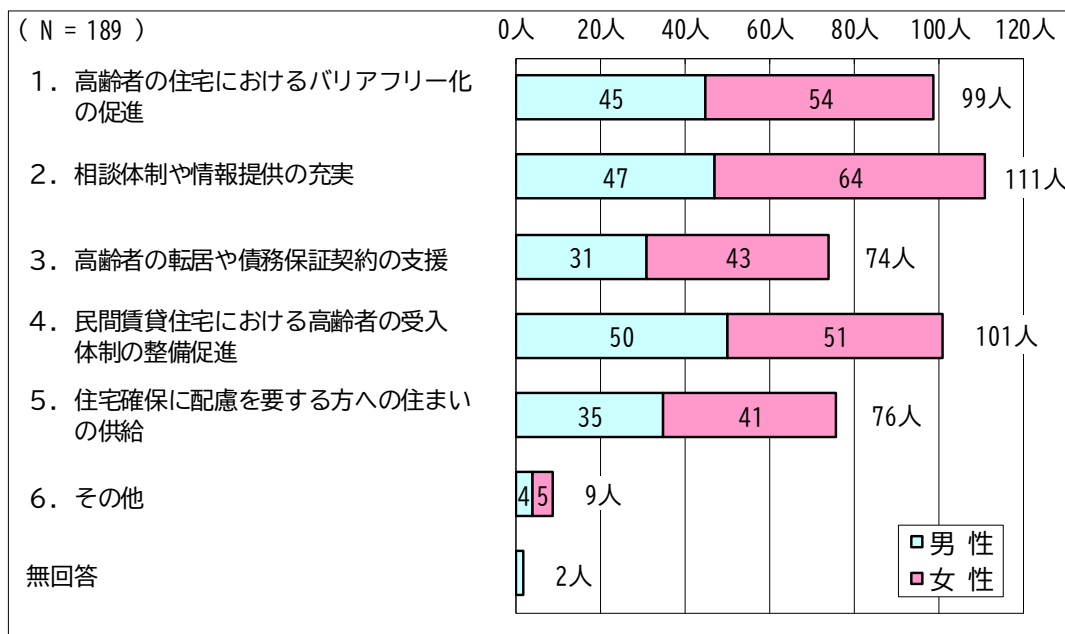
設問5：築年数が一定程度経過した住宅(マンションの場合は専有部分)においては、環境性能や防犯機能の低さ、居住性の低下などが見られる場合があります。築年数が一定程度経過した住宅の居住環境の維持向上に関する区の見直しについて、重要だと思うものは何ですか。(複数回答可)



設問6：区内では、子育て世帯や若年夫婦世帯がライフステージの変化を機に転出されるケースが見られます。
 子育て世帯の居住環境の整備について、今後区は積極的に取り組むべきだと思いますか。



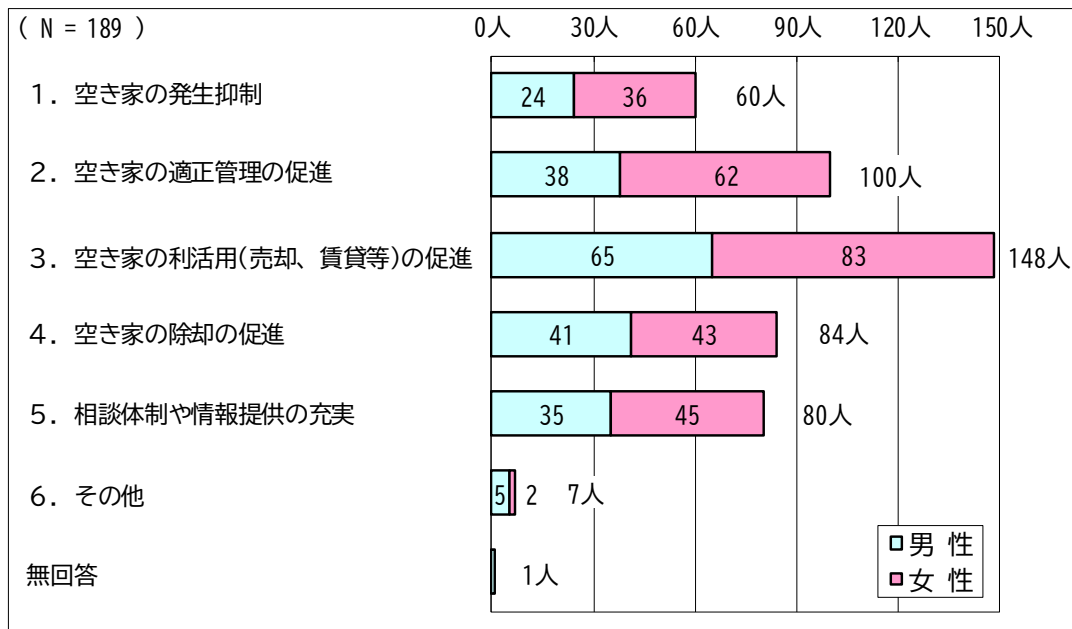
設問7：区内では、高齢者の人口は概ね横ばいで推移しています。
 高齢者の居住の安定確保に関する今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。（複数回答可）



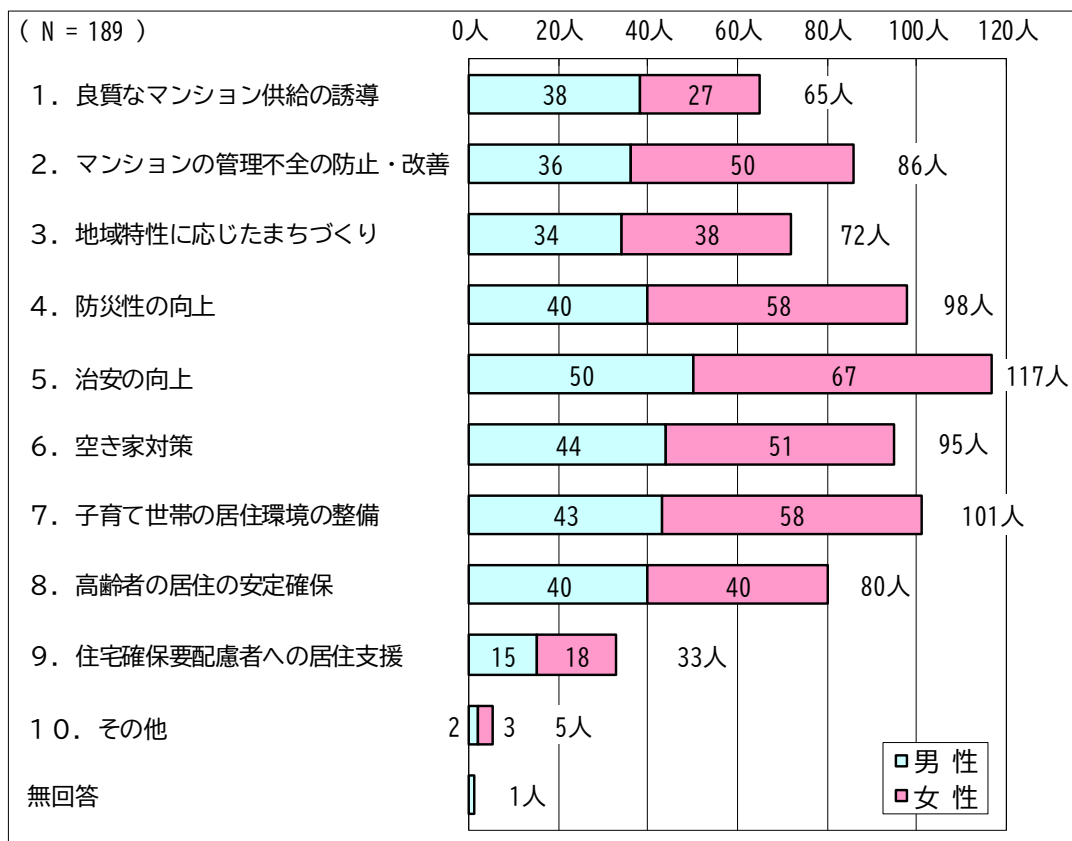
設問8：空き家(空き住戸を含む)は、防災、防犯、衛生面などにおいて、周辺の住環境に様々な影響を及ぼす可能性があります。

空き家に関する今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。

(複数回答可)



設問9：地域における良好な住環境の維持向上、住生活の質の向上、良質な住宅ストックの形成に向けた今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。(複数回答可)



設問10：住まいや住環境について、日頃お考えになっていることがありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・マンションのエントランスで、住人が鍵を開けたタイミングで不審者が入ってくるというリスクがあるので、防犯面をさらに強化するべきだと思う。
- ・防災や防犯を徹底した、安心・安全な住環境の整備が必要だと考える。住む人だけでなく、訪れる人にとっても安心・安全なまちであることが、住民にとっても望ましい環境であると思う。
- ・古い小さな民家が多く、ゴチャゴチャしていて災害時が心配だ。
- ・最近諸外国の観光客や住民が増え、ごみの処理や深夜早朝の出歩き、たむろしての騒ぎ等、通常の住環境を阻害する状況をよく見かける。防犯やごみ管理を兼ね、町内の見廻りなどを考えてほしい。
- ・昔ながらの狭い道に家が密集している地域に住んでいるが、災害が生じた時に被害が大きくなってしまいう危険性を感じている。火災や地震に対応できる住宅地域を目指して取り組んでほしい。
- ・新築・中古ともに供給される物件の広さが子育て世帯には手狭であり、子供が小学校に入学する、2人目が生まれるなどのタイミングで転出せざるを得ないと思われる。古いマンションには広い間取りの部屋もあるが、耐震性などの面で不安がある。
- ・台東区のマンションは单身向けや夫婦と子供1人くらいの世帯向けのものが多く、小学生くらいの子育て世帯にとって、住み替えしたくても良い物件がない。家賃も高いため、小学校入学時に転出して行くケースをよく聞く。子育て世帯向けの賃貸物件が増えたら良いのではないかと思う。
- ・区内のマンションは広い物件が少ない。戸建てには住みたくないが、子供も大きくなり、広い物件に転居したい場合、転出するしか選択肢がない。
- ・都内は便利だが家賃が高く、高齢者も若い人たちが収入の中で住宅費が多く占めている。元気な高齢者が住み慣れた土地で最期まで住み続けられるように支援してあげてほしい。
- ・子供の成長とともに現住居が手狭になってきた。学校、幼稚園と子供の環境をあまり変えたくなく、区内で引越しを考えているが、台東区は住宅費が高い。

- ・積立修繕が不足しているマンションが増えた場合に、建物の維持が心配だ。何らかの支援制度が望まれる。
- ・新しいマンションなどがどんどん建てられているのに、空き家が増えているのはおかしな話だと思うので、改装工事を促進するなど無駄を作らない工夫をしてほしい。
- ・マンションにも町中にも駐輪場が少ないと思う。
- ・将来、子供達には今住んでいるマンションを相続しないで売ってほしいが、買い手が見つるか不安だ。
- ・古いマンションをリノベーションして住んでいるが、耐震性については心配である。
- ・地域や区のイベントに対して、マンション内で何か独自で活動できると良い。
- ・ここ5年の間に台東区に引っ越した。もう少し地域のつながりがあれば助かる。町内会の入り方もよくわからない。
- ・元々の区民と転入した区民の交流は難しく、また現代では煩わしさを感じる人も多いと思うが、災害時等を考慮すると少しでも交流があるのが望ましいと考える。
- ・マンション住みで適度な近所付き合いの現状は良いと思うが、災害時にはコミュニティの協力が不可欠だと思うので、そう言う面を前提にした周囲との関わり方、つながり方は必要だと思う。
- ・子育て世代人口の流入を促進し、将来的にも歴史あるこのエリアの持続可能な開発・発展案を、区を挙げて創出して、江戸時代からの世界に誇る文化的価値高い観光資源を守り、継承し、盛り上げていきたい。
- ・生活スタイルの多様化で、夜間帯に活動する人も多くなり、生活音が騒音として感じるが増えてきた。
- ・誰もが年を取る。車いすの生活など無縁だと思っけていても、その日がくるかもしれない。台東区の住宅を見ると、車いすの対応が十分だとは言えない。対策をしてほしい。
- ・高齢の単身者が賃貸物件を借りられないのは非常に困る問題なので、区に取り組んでもらいたい。
- ・古くなったマンションの建替えを行政が積極的に介入し、民間のデベロッパーなどを紹介して建替えを促進してほしい。

【バリアフリー・まちの景観について】

「バリアフリー」についての調査では、高齢者や障害者等の利用者のご意見をバリアフリー整備に反映させる取組みが重要との回答が多い結果となりました。また、バリアフリーマップについては、閲覧したことのある人が約3割であることから、認知度向上に向けた取組みや機能充実の検討が必要であることがわかりました。

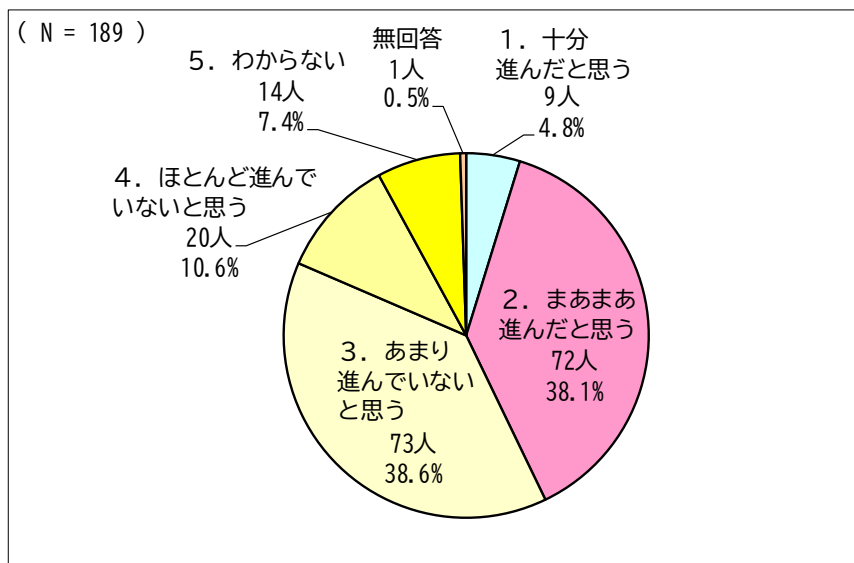
「まちの景観」についての調査では、「大変関心がある」「ある程度関心がある」と回答した方が9割を超え、「台東区の景観」についても「とても良好だと思う」「概ね良好だと思う」と回答した方が約6割となっています。

今回の調査結果や、いただいたご意見を参考にし、すべての人々が安心して生活できる調和のとれたまちづくりを推進してまいります。

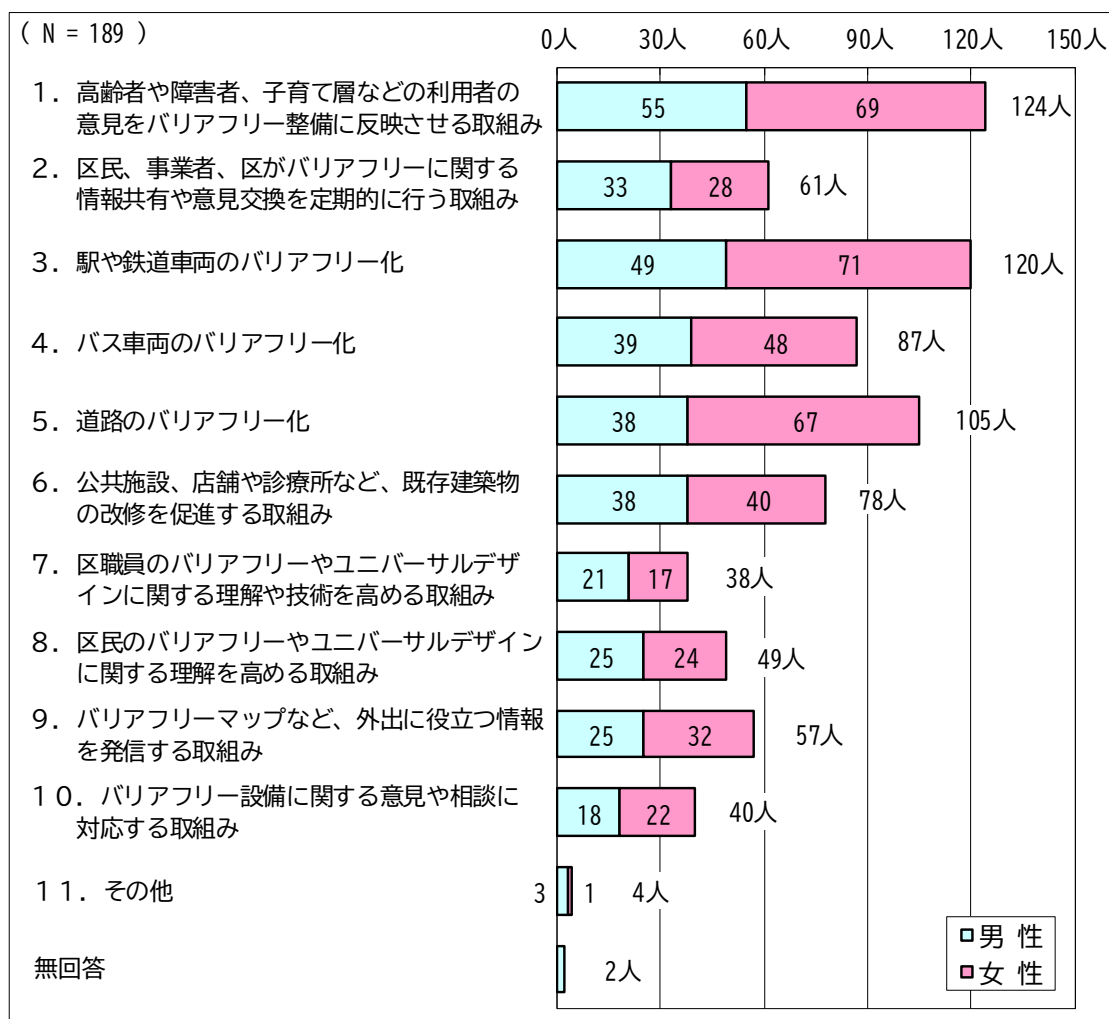
(都市づくり部 都市計画課)

設問11:「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などに関わらず、できるだけ多くの人々が利用しやすいようにデザインする考え方を「ユニバーサルデザイン」と言います。

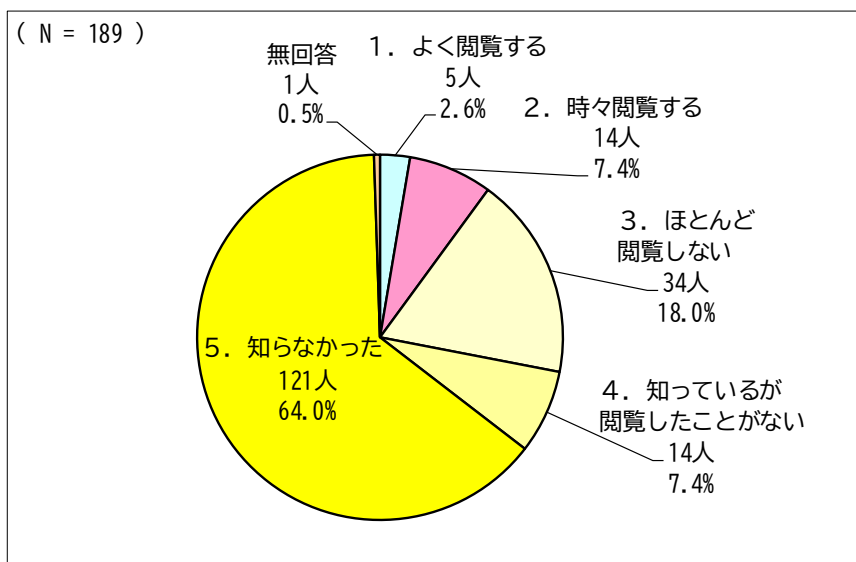
日常生活や社会生活を送る上で、どの程度バリアフリーやユニバーサルデザインが進んだと思いますか。



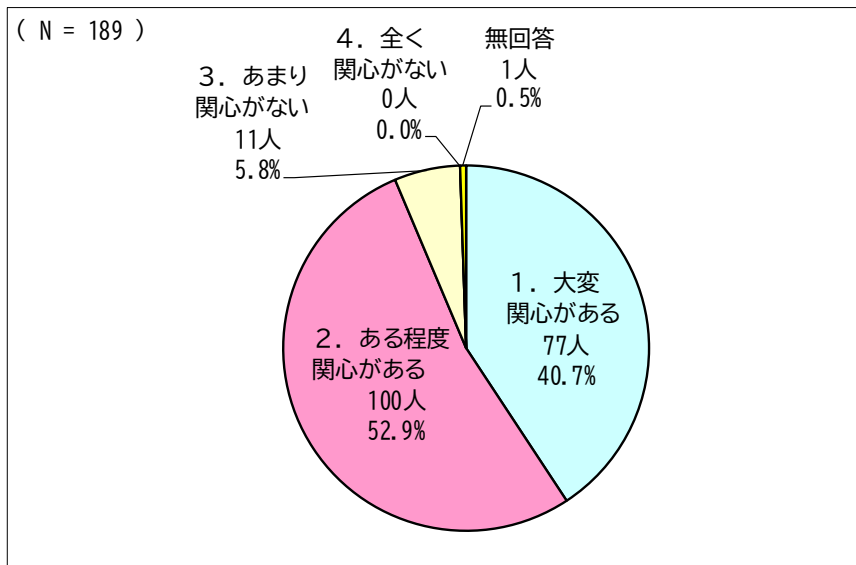
設問12：誰もが安心して外出できるまちづくりに向けて、どのような取組みが重要だと思いますか。（複数回答可）



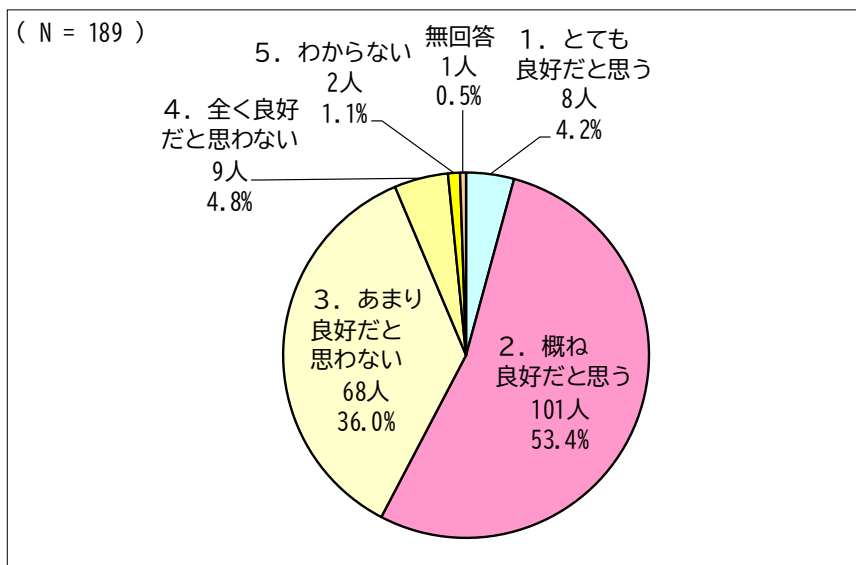
設問13：台東区内の多機能トイレやエレベーターの情報などを掲載したバリアフリーマップを区のホームページで公開しています。閲覧したことはありますか。



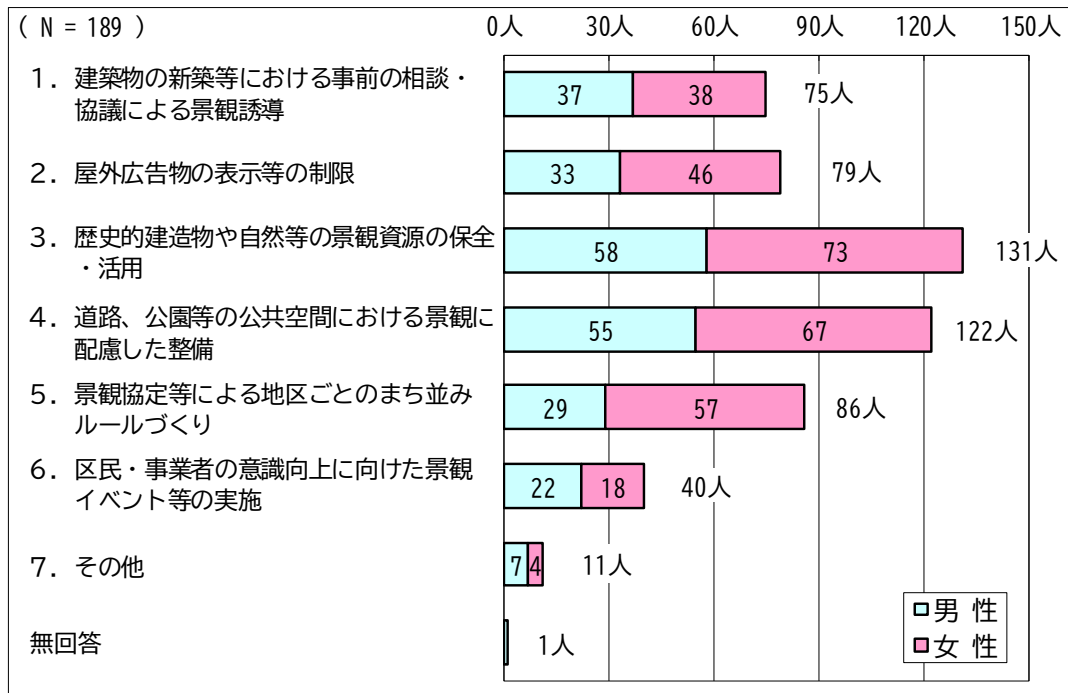
設問14：あなたは、まちの景観（景色・風景）についてどの程度関心がありますか。



設問15：台東区の景観は良好だと思いますか。



設問16: まちの良好な景観の形成に向けて、重点的に行うべきことは何だと思えますか。
 (複数回答可)



設問17：バリアフリー・まちの景観についてご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・街の歩道について、ベビーカーを押して歩いていると横断歩道などの小さな段差に車輪がつかえて危ない。ベビーカーのような小さな車輪には優しくない設計だと日頃感じている。子育て世代として、小さな段差は大きなストレスだ。改善の余地があると思う。
- ・妊娠中にバスで席を譲るように言われた。ハード面のバリアフリーも重要だが、区民の意識を変えることも十分バリアフリーになると思う。
- ・音の鳴る信号機など、障害を持つ方が暮らしやすくなるバリアフリーがもっと増えれば良いと思う。
- ・障害者や高齢者が車椅子でも通りやすいような街並みになると良いと思う。
- ・都営バス・めぐりんなどで実際に車椅子の方を見かけることはゼロではないが、かなり頻度が低く、実際に利用するに至っていない理由があると思う。
ベビーカーを押しながら歩いていると至る所に段差があり、歩きづらいので、高齢の方や車椅子の方などにとっても極めて外出しづらい環境なのではないか。
- ・歩道のバリアフリー化が進んでいても、違法駐車、路上駐車や自転車の迷惑運転が減らないと、バリアフリー化の価値が下がると思う。
- ・台東区に転入してきたが、外出する高齢者を多く見かけ、とても良いことだと感じる。店頭や周りの人が自然にサポートしているのが素晴らしい。サポートする・される風土があるからだと思う。外出しやすい環境、つまりユニバーサルデザインを取り入れた街づくりをすればさらに住みやすくなるはずだ。高齢者や区民に限らず、区内へ来る旅行者にとっても良いはずだ。
- ・インバウンドを含めて、来街者は地域の文化や景観を楽しみに台東区へ遊びに来るのだと思う。バリアフリー化を積極的に推進させたおかげで、一昔前より外に出やすくなってきている。まだまだ歩みは止めてはいけないと感じる。
- ・樹木や花などの自然が見られる場所が少ないので、もう少し緑が増えれば良いと思う。空きスペースもすぐマンションが建ってしまい余白がないと感じる。防災面からも、公園などの余白がもっとあると良いと思う。
- ・観光地ならではの景観維持が大切だと思う。

- ・浅草通りは、道路の道幅を広げて、木をさるすべりの木にしたので、見通しが良くなって気持ちが良い。座る場所が少ないので、もっと増やしてほしい。
- ・街の景観は“観光”の台東区としては重要だ。歴史的建造物にしても、屋外広告物にしても、見やすさ、目につきやすさ、好感度などが求められる。さらに“台東区の資源”を前面に出すのもひとつの方法だと思う。
- ・まちの景観は治安にもつながるので、積極的に取り組むべきだと思う。ごみやタバコのポイ捨てが目立つので、対策を考えていきたい。
- ・自然が少なく雑多なイメージが強い。緑が増えてほしい。
- ・電柱の地中化を推進したり、樹木等をもう少し道路に植えられれば、景観は改善されると思う。
- ・インバウンド需要に応えるべきなのはわかっているが、外国人受けする嘘の和風ではなく、本当の日本らしい町並みであってほしい。
- ・どうしたら住み心地が良いかをもう少し考えてほしい。例えば、幸福度や生活の質を向上させるために、地域住民が主体的にまちづくりに参加することなどがあげられると思う。
- ・世界的に有名な日本一、東京一の観光スポットである浅草界隈の景観保全をもっと促進して、さらにバリアフリー化による人流促進を加速させたい。

【世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用について】

平成28年の世界文化遺産登録以降も、区では国立西洋美術館について様々な普及啓発を実施してまいりました。

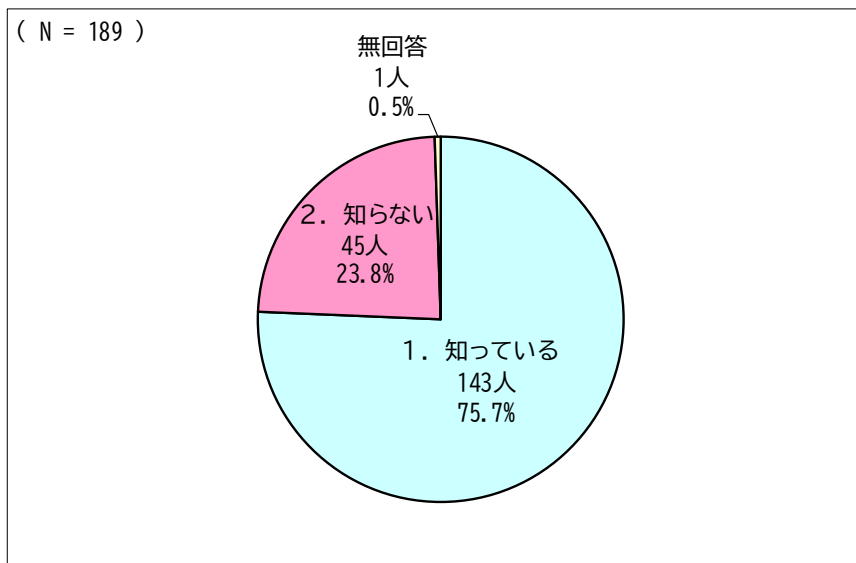
今回の調査では、7割を超える方が台東区に世界遺産があることを「知っている」と回答しています。一方、区の実施している取り組みについては、「満足している」「どちらかといえば満足している」との回答が半数を占めたものの、「わからない」との回答が約3割であることから、さらなる周知が必要であると考えています。

今回いただいたご意見を参考に、世界の宝となった国立西洋美術館を将来の世代に引き継ぐべく、より一層の事業の充実に努めてまいります。

(国際・都市交流推進室 世界遺産担当)

設問18：上野公園内にある国立西洋美術館は、7カ国17資産で構成される「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」として、2016年に世界文化遺産に登録されました。

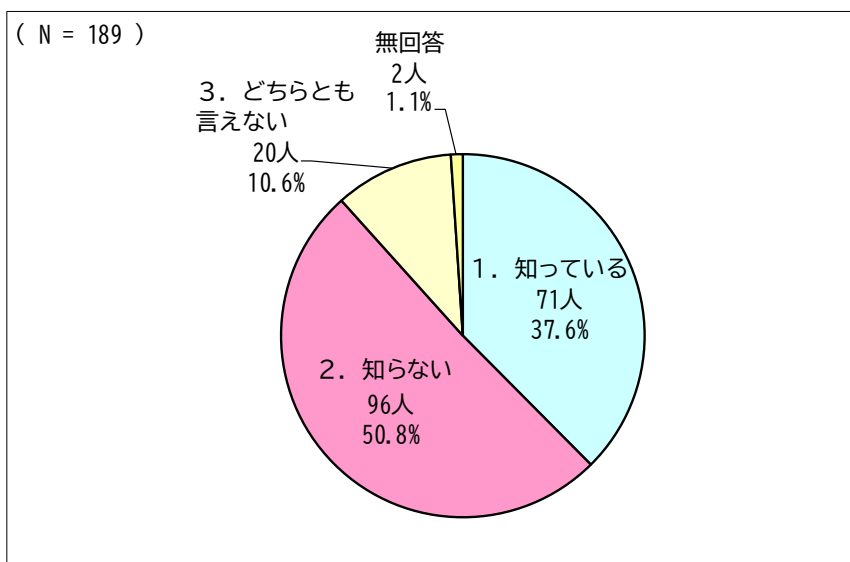
台東区に世界遺産があることを知っていますか。



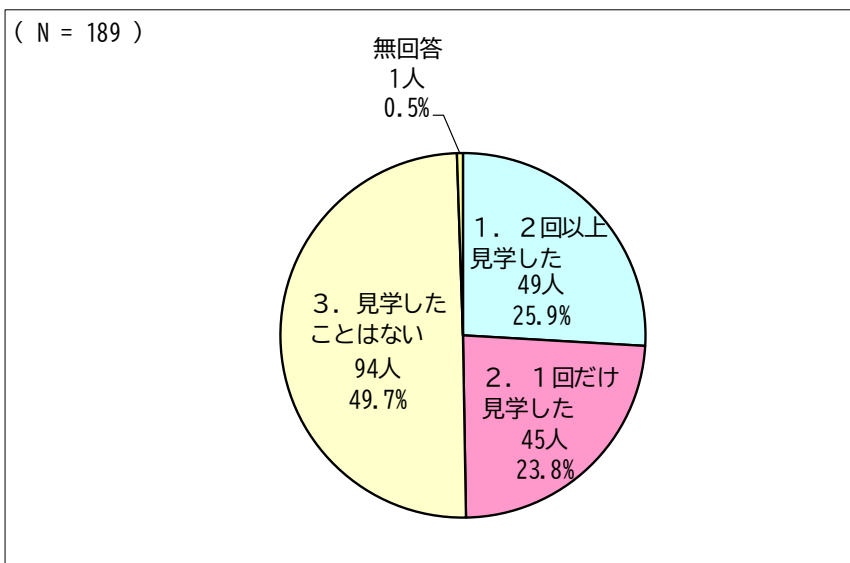
設問19：国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品」は、その顕著な普遍的価値が評価され、世界文化遺産に登録されましたが、その内容を知っていますか。

〈ル・コルビュジエの建築作品の顕著な普遍的価値とは〉

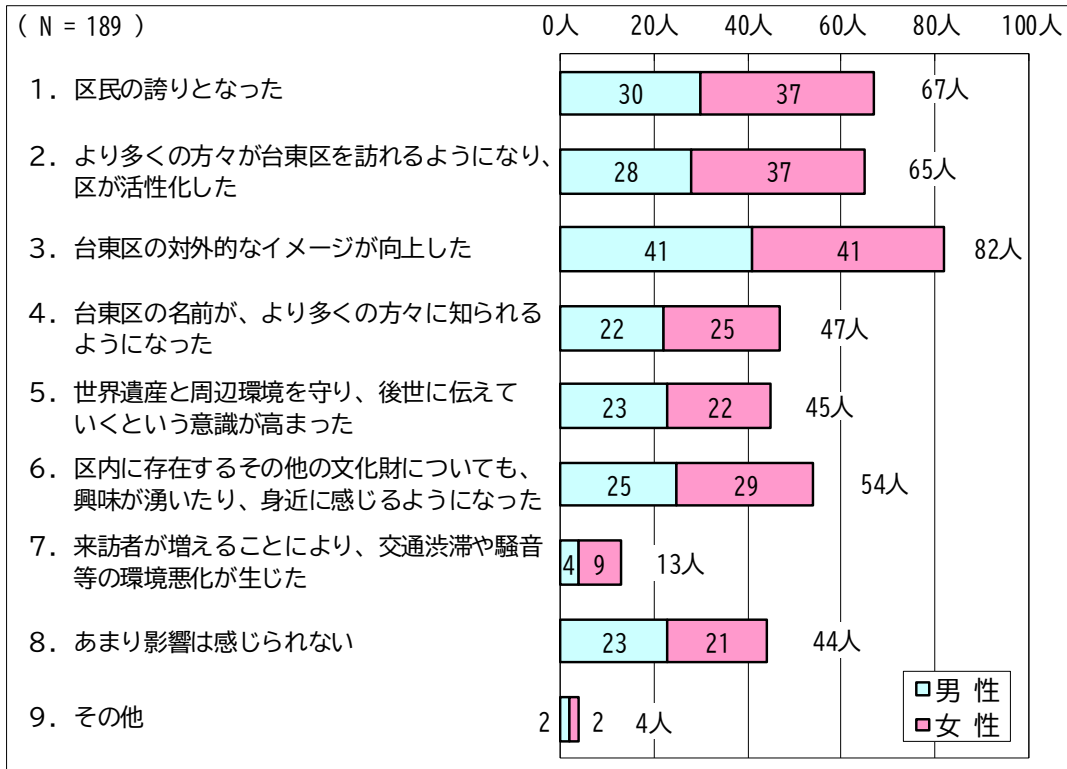
- ・人間の創造的才能を表す傑作であること
- ・世界規模での卓越した影響力を示す総体としての建築群であること
- ・アイデアを反映した建築群であること



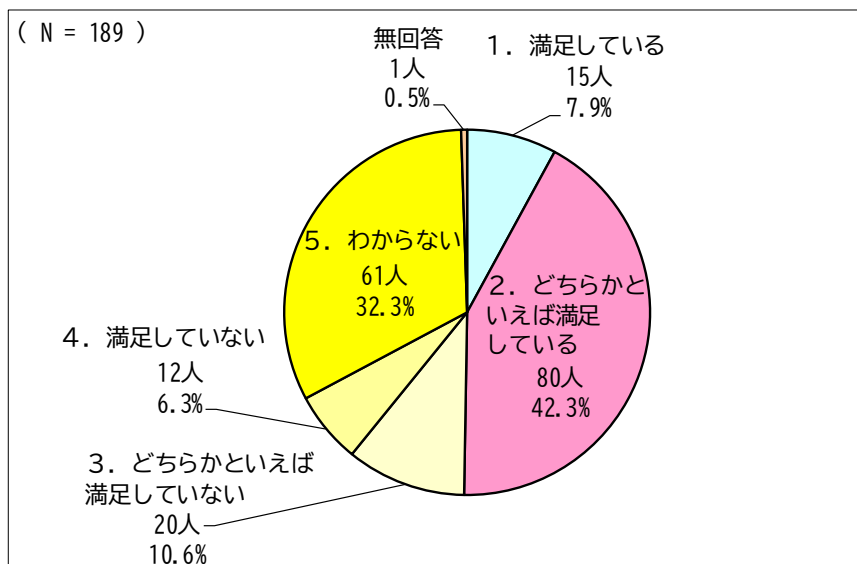
設問20：国立西洋美術館が2016年7月に世界文化遺産に登録された後に、国立西洋美術館を見学したことはありますか。



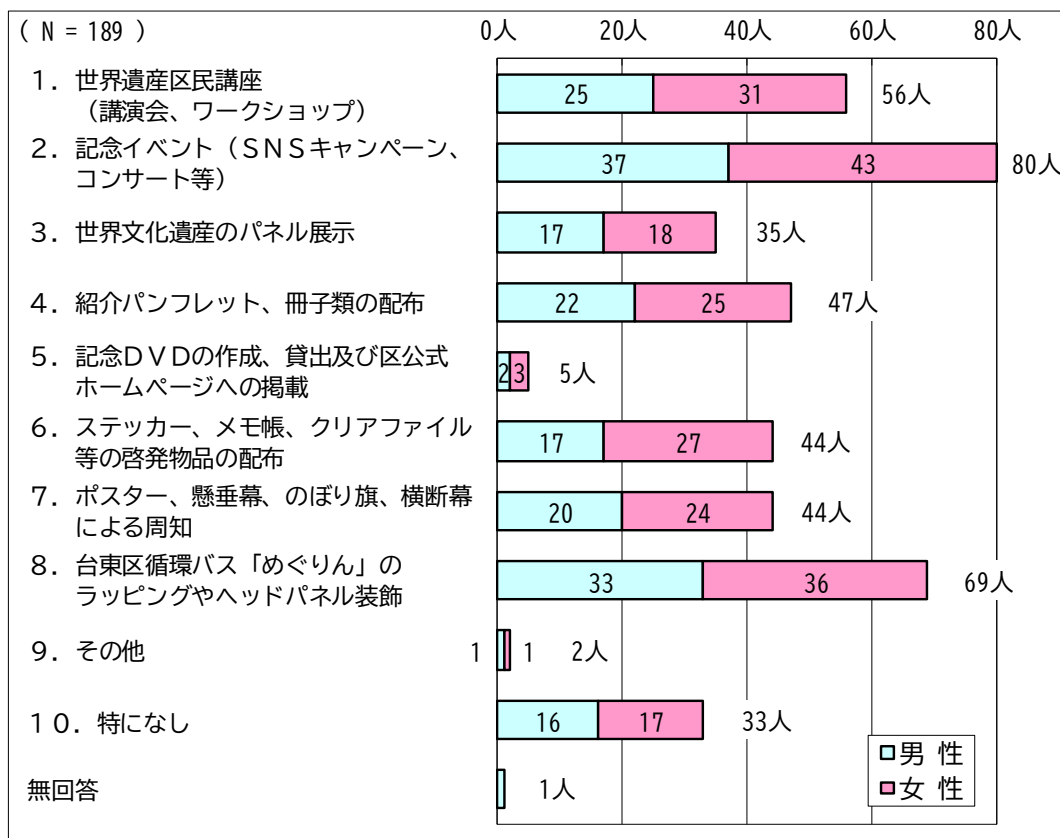
設問21：国立西洋美術館が世界遺産に登録されたことで、台東区にどのような影響があったと思いますか。（複数回答可）



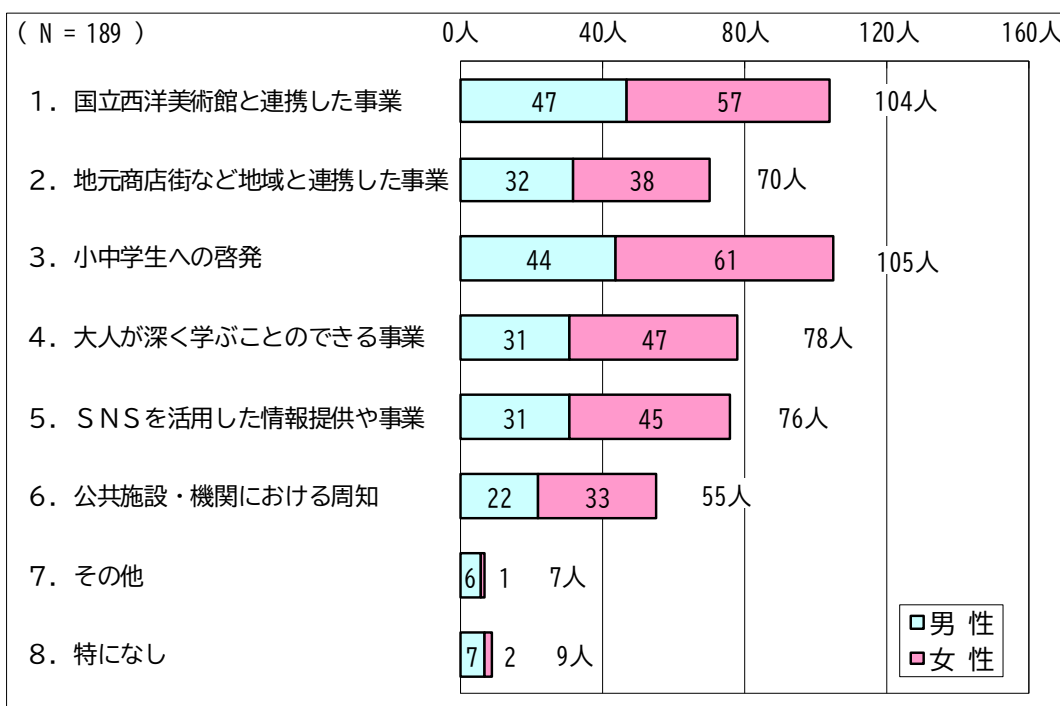
設問22：世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用に係る区の実施について、どの程度満足していますか。



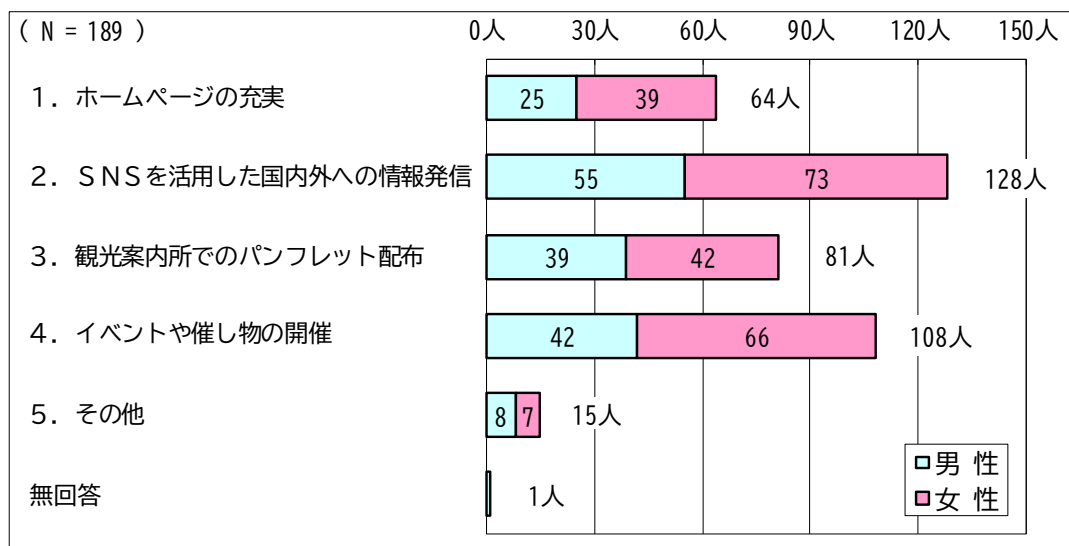
設問23：区ではこれまで、世界遺産関連事業を行ってきましたが、どのようなものに興味がありますか。(複数回答可)



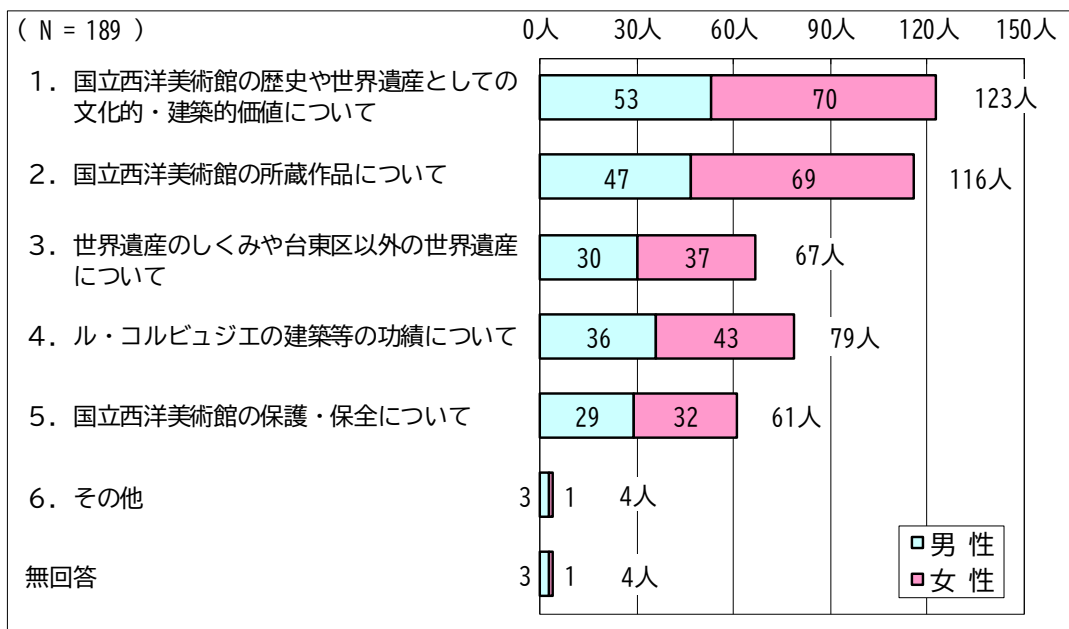
設問24：区民に世界文化遺産「国立西洋美術館」への親しみをより一層持ってもらうため、どのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答可)



設問25：来街者に「世界遺産のあるまち 台東区」をより一層PRするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)



設問26：今後、区で世界遺産関連事業を行う場合、どのようなテーマを取り上げたらよいと思いますか。(複数回答可)



設問27：世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用・保全について、ご意見がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・ 学生の時に記念のメモ帳が配られたことをきっかけに、ル・コルビュジエを知った。講座を開くよりも、記念品を配る事で認知度を上げることができると思う。
- ・ 国立西洋美術館自体の外観が普通すぎて良さが伝わりにくい。そこを踏まえた上で、啓発を行うと良いと思う。
- ・ 夜間のライトアップや館外に貴重な彫刻が展示してある等、素晴らしいと思う。ぜひ上手く活用してほしい。
- ・ より国立西洋美術館に訪れる方が多くなるようなイベントの開催が望ましいと思う。
- ・ 小さな子供がいると行きにくいので、小さな子供ウェルカムなタイミングやイベントを作ってくれれば行きやすい。
- ・ 川崎重工とのタイアップで入場が無料の日があるが、折角訪れた方々へのPRが足りない。実際自分も知らなかったし、知らずに帰る人が多いと思う。入場ゲート、内側、外側での周知活動が必要だと思う。
- ・ 区民がよく知るべきだと思うので、幼児期から知ってもらうために、幅広い年齢に合わせたイベントを実施したり、教育機関との連携を取ってほしい。
- ・ 現在の区の取り組みは、目に見えて効果があると思う。世代別にターゲットを絞った取り組みを行えば、理解が早く効果的ではないか。
- ・ 小学校や中学校の学習で取り上げ、事前調べ、見学などができれば子供たちも興味を持てると思う。
- ・ 世界遺産であることを知らなかった。機会をみて行ってみたいと思う。
- ・ 国立西洋美術館について、その世界的価値を知らなかったなので、この機会に実際に行ってみようと思う。
- ・ まだ行ったことがないので今年中に足を運ぼうと思う。
- ・ よく周知啓発がされていると思う。

- ・観光の目玉として「世界文化遺産としての国立西洋美術館」を利用するのであれば、先ごろ公開された映画『わたしたちの国立西洋美術館』の上映会を区民向けに開き、専門家等を招いたイベントを実施してはどうか。
- ・近くにはあるが、訪れる機会は少ない。イベント等で足を向けるきっかけがあれば身近に感じて関心を持つことができると思う。
- ・浅草在住だが、こちらまで声が届いていないので、地元だけではなく台東区全域でイベントを盛り上げていきたい。
- ・登録後7年を経た国立西洋美術館は利用者数から見て一定の評価はできるが、さらなる利活用向上のためには身近な面、とりわけ学校教育、社会教育の充実こそ肝要ではないか。
- ・世界文化遺産になる前から「国立西洋美術館」は好きだった。見学すればするほどワクワクする。
- ・保護、保全には十分力を入れてほしい。
- ・周知啓発は現状くらいで良いと思う。逆に許容を超える観光客等が来ることを懸念している。
- ・国立西洋美術館の雰囲気をとくさんの人に味わってもらいたいので、中の展示を観るチケットを持っていなくても、館内のレストランや共有部分、ショップが利用できることをもっとアピールすると良いと思う。
- ・自分も含めて、区民の意識を高める必要があると思う。
- ・よく行くのに全く知らなかった。わかりやすい掲示や、電車、バスなど、ちょっとしたところに周知があると見ると思う。
- ・美術館は興味のある方とない方とに分かれやすい。ネットを活用して広く情報発信することが保全につながると思う。
- ・世界文化遺産に関する活動は登録以前から注目していた。無事登録された時はとても嬉しかった。

II アンケート質問と回答

【住まいや住環境について】

- 設問1:** 区内では、住宅の約8割をマンション等の共同住宅が占めています。あなたのお住まい周辺のマンションについて、気になることは何ですか。（複数回答可）
- | | | |
|----------------------------|------|-------|
| 1. 建物・設備の老朽化 | 82人 | 43.4% |
| 2. 清掃や植栽管理の不十分さ | 41人 | 21.7% |
| 3. 建物の耐震性への不安 | 62人 | 32.8% |
| 4. マンション内における災害時の備え | 53人 | 28.0% |
| 5. 生活ルールに関するマンション居住者の意識の低さ | 71人 | 37.6% |
| 6. マンション居住者の地域とのつながりの希薄さ | 84人 | 44.4% |
| 7. その他 | 23人 | 12.2% |
| 無回答 | 4人 | 2.1% |
| 全体 | 420人 | |
- 設問2:** 区内では、築50年を超えるマンションが年々増加しており、老朽化や空室化の進行が懸念されています。マンションの管理不全の防止・改善の促進について、今後区は積極的に取り組むべきだと思いますか。
- | | | |
|-----------------------------|------|--------|
| 1. 積極的に取り組むべきだと思う | 115人 | 60.8% |
| 2. どちらかといえば積極的に取り組むべきだと思う | 59人 | 31.2% |
| 3. どちらかといえば積極的に取り組む必要はないと思う | 5人 | 2.6% |
| 4. 積極的に取り組む必要はないと思う | 6人 | 3.2% |
| 無回答 | 4人 | 2.1% |
| 全体 | 189人 | 100.0% |
- 設問3:** マンションは、戸建て住宅に比べ、近所付き合いの機会が限られている場合が少なくありません。マンションにおける居住者同士の交流や、マンション居住者による地域活動への参加は必要だと思いますか。
- | | | |
|---------------------|------|--------|
| 1. 必要だと思う | 63人 | 33.3% |
| 2. どちらかといえば必要だと思う | 85人 | 45.0% |
| 3. どちらかといえば必要だと思わない | 29人 | 15.3% |
| 4. 必要だと思わない | 9人 | 4.8% |
| 無回答 | 3人 | 1.6% |
| 全体 | 189人 | 100.0% |

設問4: マンションに関する今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。
(複数回答可)

1. 管理組合の適正な運営の促進	95人	50.3%
2. 大規模修繕工事の促進	64人	33.9%
3. 建物管理や生活ルールに関する居住者の意識醸成	91人	48.1%
4. 耐震化の促進	90人	47.6%
5. 建替えの促進	41人	21.7%
6. 防災対策・防災意識向上の促進	89人	47.1%
7. 居住者同士や地域とのコミュニティ形成の促進	91人	48.1%
8. その他	10人	5.3%
無回答	4人	2.1%
全体	575人	

設問5: 築年数が一定程度経過した住宅(マンションの場合は専有部分)においては、環境性能や防犯機能の低さ、居住性の低下などが見られる場合があります。築年数が一定程度経過した住宅の居住環境の維持向上に関する区の実施について、重要だと思うものは何ですか。(複数回答可)

1. 建物・設備の修繕の促進	132人	69.8%
2. バリアフリー化の促進(住戸内の安全対策を含む)	57人	30.2%
3. 環境性能向上の促進	67人	35.4%
4. 居住性向上(設備改修、間取り変更等)の促進	72人	38.1%
5. 防犯機能向上の促進	87人	46.0%
6. その他	6人	3.2%
無回答	3人	1.6%
全体	424人	

設問6: 区内では、子育て世帯や若年夫婦世帯がライフステージの変化を機に転出されるケースが見られます。子育て世帯の居住環境の整備について、今後区は積極的に取り組むべきだと思いますか。

1. 積極的に取り組むべきだと思う	116人	61.4%
2. どちらかといえば積極的に取り組むべきだと思う	54人	28.6%
3. どちらかといえば積極的に取り組む必要はないと思う	13人	6.9%
4. 積極的に取り組む必要はないと思う	3人	1.6%
無回答	3人	1.6%
全体	189人	100.0%

設問7: 区内では、高齢者の人口は概ね横ばいで推移しています。高齢者の居住の安定確保に関する今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。(複数回答可)

1. 高齢者の住宅におけるバリアフリー化の促進	99人	52.4%
2. 相談体制や情報提供の充実	111人	58.7%
3. 高齢者の転居や債務保証契約の支援	74人	39.2%
4. 民間賃貸住宅における高齢者の受入体制の整備促進	101人	53.4%
5. 住宅確保に配慮を要する方への住まいの供給	76人	40.2%
6. その他	9人	4.8%
無回答	2人	1.1%
全体	472人	

設問8: 空き家(空き住戸を含む)は、防災、防犯、衛生面などにおいて、周辺の住環境に様々な影響を及ぼす可能性があります。空き家に関する今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。(複数回答可)

1. 空き家の発生抑制	60人	31.7%
2. 空き家の適正管理の促進	100人	52.9%
3. 空き家の利活用(売却、賃貸等)の促進	148人	78.3%
4. 空き家の除却の促進	84人	44.4%
5. 相談体制や情報提供の充実	80人	42.3%
6. その他	7人	3.7%
無回答	1人	0.5%
全体	480人	

設問9: 地域における良好な住環境の維持向上、住生活の質の向上、良質な住宅ストックの形成に向けた今後の区の実施について、重要だと思うものは何ですか。(複数回答可)

1. 良質なマンション供給の誘導	65人	34.4%
2. マンションの管理不全の防止・改善	86人	45.5%
3. 地域特性に応じたまちづくり	72人	38.1%
4. 防災性の向上	98人	51.9%
5. 治安の向上	117人	61.9%
6. 空き家対策	95人	50.3%
7. 子育て世帯の居住環境の整備	101人	53.4%
8. 高齢者の居住の安定確保	80人	42.3%
9. 住宅確保要配慮者への居住支援	33人	17.5%
10. その他	5人	2.6%
無回答	1人	0.5%
全体	753人	

設問10: 住まいや住環境について、日頃お考えになっていることがありましたらご記入ください。

【バリアフリー・まちの景観について】

設問11: 「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などに関わらず、できるだけ多くの方が利用しやすいようにデザインする考え方を「ユニバーサルデザイン」と言います。日常生活や社会生活を送る上で、どの程度バリアフリーやユニバーサルデザインが進んだと思いますか。

1. 十分進んだと思う	9人	4.8%
2. まあまあ進んだと思う	72人	38.1%
3. あまり進んでいないと思う	73人	38.6%
4. ほとんど進んでいないと思う	20人	10.6%
5. わからない	14人	7.4%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問12: 誰もが安心して外出できるまちづくりに向けて、どのような取組みが重要だと思いますか。(複数回答可)

1. 高齢者や障害者、子育て層などの利用者の意見をバリアフリー整備に反映させる取組み	124人	65.6%
2. 区民、事業者、区がバリアフリーに関する情報共有や意見交換を定期的に行う取組み	61人	32.3%
3. 駅や鉄道車両のバリアフリー化	120人	63.5%
4. バス車両のバリアフリー化	87人	46.0%
5. 道路のバリアフリー化	105人	55.6%
6. 公共施設、店舗や診療所など、既存建築物の改修を促進する取組み	78人	41.3%
7. 区職員のバリアフリーやユニバーサルデザインに関する理解や技術を高める取組み	38人	20.1%
8. 区民のバリアフリーやユニバーサルデザインに関する理解を高める取組み	49人	25.9%
9. バリアフリーマップなど、外出に役立つ情報を発信する取組み	57人	30.2%
10. バリアフリー設備に関する意見や相談に対応する取組み	40人	21.2%
11. その他	4人	2.1%
無回答	2人	1.1%
全体	765人	

設問13: 台東区内の多機能トイレやエレベーターの情報などを掲載したバリアフリーマップを区のホームページで公開しています。閲覧したことはありますか。

1. よく閲覧する	5人	2.6%
2. 時々閲覧する	14人	7.4%
3. ほとんど閲覧しない	34人	18.0%
4. 知っているが閲覧したことがない	14人	7.4%
5. 知らなかった	121人	64.0%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問14: あなたは、まちの景観(景色・風景)についてどの程度関心がありますか。

1. 大変関心がある	77人	40.7%
2. ある程度関心がある	100人	52.9%
3. あまり関心がない	11人	5.8%
4. 全く関心がない	0人	0.0%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問15: 台東区の景観は良好だと思いますか。

1. とても良好だと思う	8人	4.2%
2. 概ね良好だと思う	101人	53.4%
3. あまり良好だと思わない	68人	36.0%
4. 全く良好だと思わない	9人	4.8%
5. わからない	2人	1.1%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問16: まちの良好な景観の形成に向けて、重点的に行うべきことは何だと思えますか。
(複数回答可)

1. 建築物の新築等における事前の相談・協議による景観誘導	75人	39.7%
2. 屋外広告物の表示等の制限	79人	41.8%
3. 歴史的建造物や自然等の景観資源の保全・活用	131人	69.3%
4. 道路、公園等の公共空間における景観に配慮した整備	122人	64.6%
5. 景観協定等による地区ごとのまち並みルールづくり	86人	45.5%
6. 区民・事業者の意識向上に向けた景観イベント等の実施	40人	21.2%
7. その他	11人	5.8%
無回答	1人	0.5%
全体	545人	

設問17: バリアフリー・まちの景観についてご意見がありましたらご記入ください。

【世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用について】

設問18: 上野公園内にある国立西洋美術館は、7カ国17資産で構成される「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」として、2016年に世界文化遺産に登録されました。
台東区に世界遺産があることを知っていますか。

1. 知っている	143人	75.7%
2. 知らない	45人	23.8%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問19: 国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品」は、その顕著な普遍的価値が評価され、世界文化遺産に登録されましたが、その内容を知っていますか。

1. 知っている	71人	37.6%
2. 知らない	96人	50.8%
3. どちらとも言えない	20人	10.6%
無回答	2人	1.1%
全体	189人	100.0%

設問20: 国立西洋美術館が2016年7月に世界文化遺産に登録された後に、国立西洋美術館を見学したことはありますか。

1. 2回以上見学した	49人	25.9%
2. 1回だけ見学した	45人	23.8%
3. 見学したことはない	94人	49.7%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問21: 国立西洋美術館が世界遺産に登録されたことで、台東区にどのような影響があったと思いますか。(複数回答可)

1. 区民の誇りとなった	67人	35.4%
2. より多くの方々が台東区を訪れるようになり、区が活性化した	65人	34.4%
3. 台東区の対外的なイメージが向上した	82人	43.4%
4. 台東区の名前が、より多くの方々に知られるようになった	47人	24.9%
5. 世界遺産と周辺環境を守り、後世に伝えていくという意識が高まった	45人	23.8%
6. 区内に存在するその他の文化財についても、興味が湧いたり、身近に感じるようになった	54人	28.6%
7. 来訪者が増えることにより、交通渋滞や騒音等の環境悪化が生じた	13人	6.9%
8. あまり影響は感じられない	44人	23.3%
9. その他	4人	2.1%
全体	421人	

設問22: 世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用に係る区の実施について、どの程度満足していますか。

1. 満足している	15人	7.9%
2. どちらかといえば満足している	80人	42.3%
3. どちらかといえば満足していない	20人	10.6%
4. 満足していない	12人	6.3%
5. わからない	61人	32.3%
無回答	1人	0.5%
全体	189人	100.0%

設問23: 区ではこれまで、世界遺産関連事業を行ってきましたが、どのようなものに興味がありますか。(複数回答可)

1. 世界遺産区民講座(講演会、ワークショップ)	56人	29.6%
2. 記念イベント(SNSキャンペーン、コンサート等)	80人	42.3%
3. 世界文化遺産のパネル展示	35人	18.5%
4. 紹介パンフレット、冊子類の配布	47人	24.9%
5. 記念DVDの作成、貸出及び区公式ホームページへの掲載	5人	2.6%
6. ステッカー、メモ帳、クリアファイル等の啓発物品の配布	44人	23.3%
7. ポスター、懸垂幕、のぼり旗、横断幕による周知	44人	23.3%
8. 台東区循環バス「めぐりん」のラッピングやヘッドパネル装飾	69人	36.5%
9. その他	2人	1.1%
10. 特になし	33人	17.5%
無回答	1人	0.5%
全体	416人	

設問24: 区民に世界文化遺産「国立西洋美術館」への親しみをより一層持ってもらうため、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 国立西洋美術館と連携した事業	104人	55.0%
2. 地元商店街など地域と連携した事業	70人	37.0%
3. 小中学生への啓発	105人	55.6%
4. 大人が深く学ぶことのできる事業	78人	41.3%
5. SNSを活用した情報提供や事業	76人	40.2%
6. 公共施設・機関における周知	55人	29.1%
7. その他	7人	3.7%
8. 特になし	9人	4.8%
全体	504人	

設問25: 来街者に「世界遺産のあるまち 台東区」をより一層PRするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)

1. ホームページの充実	64人	33.9%
2. SNSを活用した国内外への情報発信	128人	67.7%
3. 観光案内所でのパンフレット配布	81人	42.9%
4. イベントや催し物の開催	108人	57.1%
5. その他	15人	7.9%
無回答	1人	0.5%
全体	397人	

設問26: 今後、区で世界遺産関連事業を行う場合、どのようなテーマを取り上げたらよいと思いますか。(複数回答可)

1. 国立西洋美術館の歴史や世界遺産としての文化的・建築的価値について	123人	65.1%
2. 国立西洋美術館の所蔵作品について	116人	61.4%
3. 世界遺産のしくみや台東区以外の世界遺産について	67人	35.4%
4. ル・コルビュジエの建築等の功績について	79人	41.8%
5. 国立西洋美術館の保護・保全について	61人	32.3%
6. その他	4人	2.1%
無回答	4人	2.1%
全体	454人	

設問27: 世界文化遺産「国立西洋美術館」の周知啓発・活用・保全について、ご意見がありましたらご記入ください。

令和5年度 第3回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和5年11月
台東区総務部広報課
令和5年度登録第53号